

(3)-4 建築設計業務「電気設備」採点表 ③【技術検査職員 (第三次評定者)用】

(1/1)

評価項目	評価の視点	配点	得点率				得点	評価細目		
			優 標準 劣							
			1.0	0.5	0	-0.5				
業務目的の達成度	記載の程度	0.6	評価細目チェック数 = 0 ⇒「劣」(得点率 -1) = 1 ⇒「やや劣」(得点率 -0.5) = 2 ⇒「普通」(得点率 ±0) = 3 ⇒「やや優」(得点率 0.5) = 4 ⇒「優」(得点率 1)			得点率		□ 成果物には審査できる最低限の記載(書き込み)があった。 □ 成果物には十分な記載(書き込み)があった。 □ 成果物の内容が理解しやすい表現であった。 □ 成果物の内容が理解しやすいように表現が工夫されていた。		
	成果物の内容	0.8	評価細目チェック数 = 0 ⇒「劣」(得点率 -1) = 1 ⇒「やや劣」(得点率 -0.5) = 2 ⇒「普通」(得点率 ±0) = 3 ⇒「やや優」(得点率 0.5) = 4 ⇒「優」(得点率 1)			得点率		□ 成果物の内容は、妥当なコストで、契約図書に示された所要性能を満たしていた。 □ 成果物の内容は、発注者の意図に照らして、運用コストを含めたコストの最適化や利用上の使い勝手に配慮されたものであった。 □ 成果物の内容は、安全対策、環境施策への対応に配慮されていた。 □ 成果物の内容に、安全対策、環境施策への対応が十分反映されていた。		
	資料等の整理指示、協議事項への対応	0.6	評価細目チェック数 = 0 ⇒「劣」(得点率 -1) = 1 ⇒「やや劣」(得点率 -0.5) = 2 ⇒「普通」(得点率 ±0) = 3 ⇒「やや優」(得点率 0.5) = 4 ⇒「優」(得点率 1)			得点率		□ 打合せ記録簿等の必要な書類が揃っていた。 □ 打合せ記録簿等の内容は理解しやすいよう表現が工夫されていた。 □ 発注者からの指示・協議事項に対する対応が図られていた。 □ 発注者からの指示・協議事項に対する対応は迅速で、内容は的確なものであった。		
課題への対応	物理的条件 社会的条件	0.4	評価細目チェック数 = 0 ⇒「劣」(得点率 -1) = 1 ⇒「やや劣」(得点率 -0.5) = 2 ⇒「普通」(得点率 ±0) = 3 ⇒「やや優」(得点率 0.5) = 4 ⇒「優」(得点率 1)			得点率		□ ※評価しない		
		0.4	評価細目チェック数 = 0 ⇒「劣」(得点率 -1) = 1 ⇒「やや劣」(得点率 -0.5) = 2 ⇒「普通」(得点率 ±0) = 3 ⇒「やや優」(得点率 0.5) = 4 ⇒「優」(得点率 1)			得点率		□ 敷地条件等の物理的な与条件・制約条件に対する解決方策に創意工夫が見られた。 □ 採用された創意工夫は、発注者の意図に照らして合理的でレベルの高いものであった。 □ 敷地周辺への配慮、ユニバーサルデザインへの対応等の社会的与条件・制約条件に対する解決方策に創意工夫が見られた。 □ 採用された創意工夫は、発注者の意図に照らして、合理的でレベルの高いものであった。		
	要望コスト	0.4	評価細目チェック数 = 0 ⇒「劣」(得点率 -1) = 1 ⇒「やや劣」(得点率 -0.5) = 2 ⇒「普通」(得点率 ±0) = 3 ⇒「やや優」(得点率 0.5) = 4 ⇒「優」(得点率 1)			得点率		□ 利用者の要望に対する解決方策に創意工夫が見られた。 □ 採用された創意工夫は、発注者の意図に照らして、合理的でレベルの高いものであった。 □ 工事費について、バランスのとれたコスト配分がなされていた。 □ 事業予算に対して、費用対効果の増大が図られた。		
合 計		2.8	／ ±100							
評定点			/ 2.8 × 35 + 65 =							

※各評価項目は、2細目ずつの組合せとなっており、下段をチェックする場合は上段もチェックする必要がある。下段のみチェックしようとすると、エラーが出る。